

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年11月29日

埼玉県鉱工業指数（令和4年9月分、第3四半期分）
 ～令和4年9月分は生産、出荷ともに2か月ぶりの「低下」～

鉱工業指数は景気や経済の動きを把握することを目的としており、製造業の事業所における活動状況を表すものです。

景気の動きに敏感で、速報性があるため足下の景気動向を判断する指標の1つとなります。

1 令和4年9月分

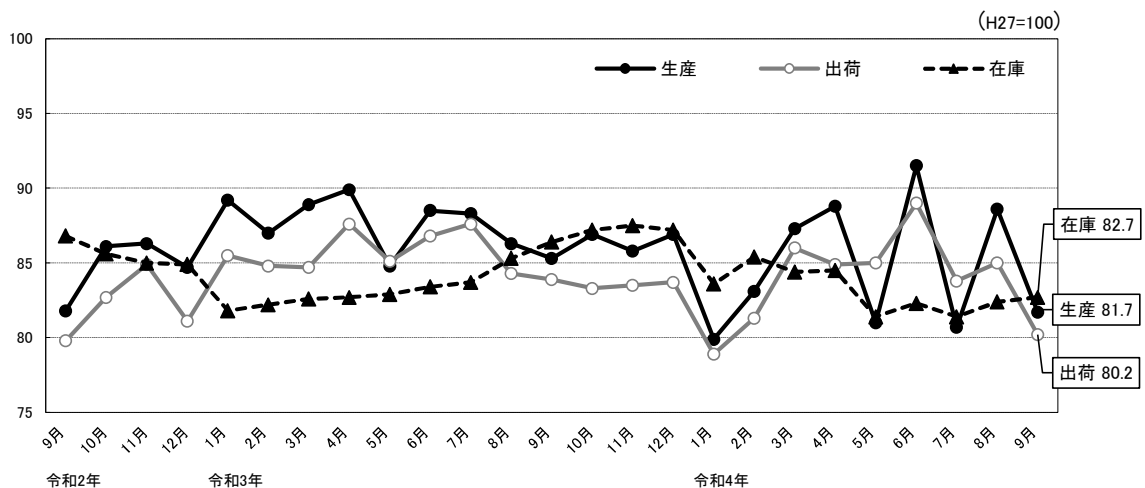
生産、出荷ともに2か月ぶりの低下

(1) 概要

令和4年9月の生産指数は、化学工業、食料品工業などの低下により2か月ぶりの低下となりました。出荷指数は、輸送機械工業、食料品工業などの低下により2か月ぶりの低下となりました。在庫指数は2か月連続の上昇、在庫率指数は2か月ぶりの上昇となっています。

(平成27年=100)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
生産	81.7	-7.8	-4.2
出荷	80.2	-5.6	-4.3
在庫	82.7	0.4	-4.3
在庫率	105.8	1.2	-1.4



(2) 業種・品目別動向 (生産・出荷 23 業種)

＜ 生産 ＞ 上昇・10 業種、低下・13 業種

医薬品などを含む化学工業、炭酸飲料などを含む食料品工業など 13 業種で低下しました。

一方で、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、平版印刷（オフセット印刷）を含む印刷業などの業種で上昇しました。

＜ 出荷 ＞ 上昇・5 業種、低下・18 業種

乗用車などを含む輸送機械工業、炭酸飲料などを含む食料品工業など 18 業種で低下しました。

一方で、特殊合板を含む木材・木製品工業、鋼半製品などを含む鉄鋼業などの業種で上昇しました。

2 令和 4 年第 3 四半期分

生産、出荷ともに 2 期ぶりの低下

(1) 概要

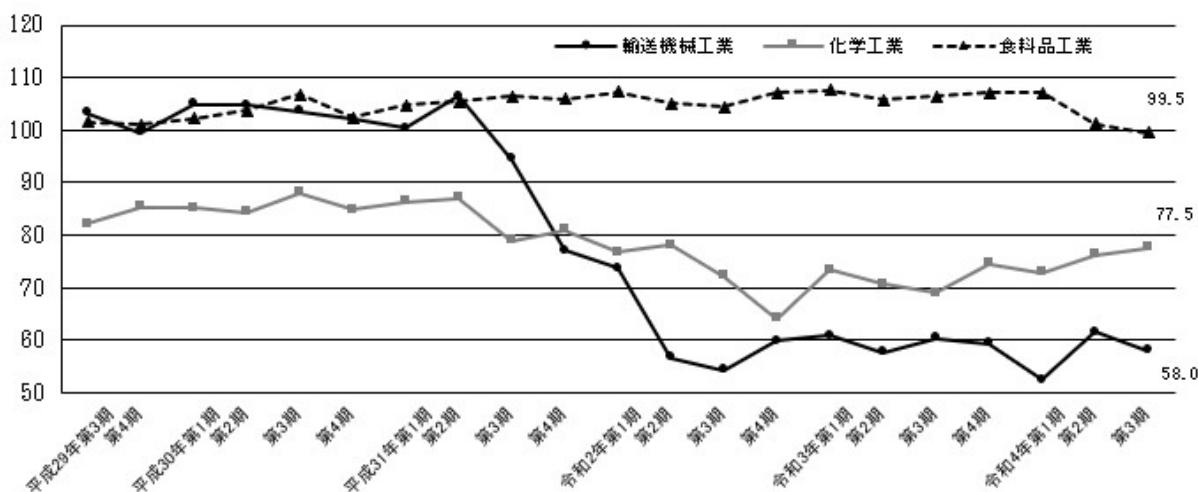
令和 4 年第 3 四半期（令和 4 年 7 月～令和 4 年 9 月期）の生産指数は、生産用機械工業、情報通信機械工業などの低下により 2 期ぶりの低下となりました。出荷指数は、生産用機械工業、食料品工業などの低下により 2 期ぶりの低下となりました。在庫指数及び在庫率指数は 3 期ぶりの上昇となっています。

(平成 27 年=100)

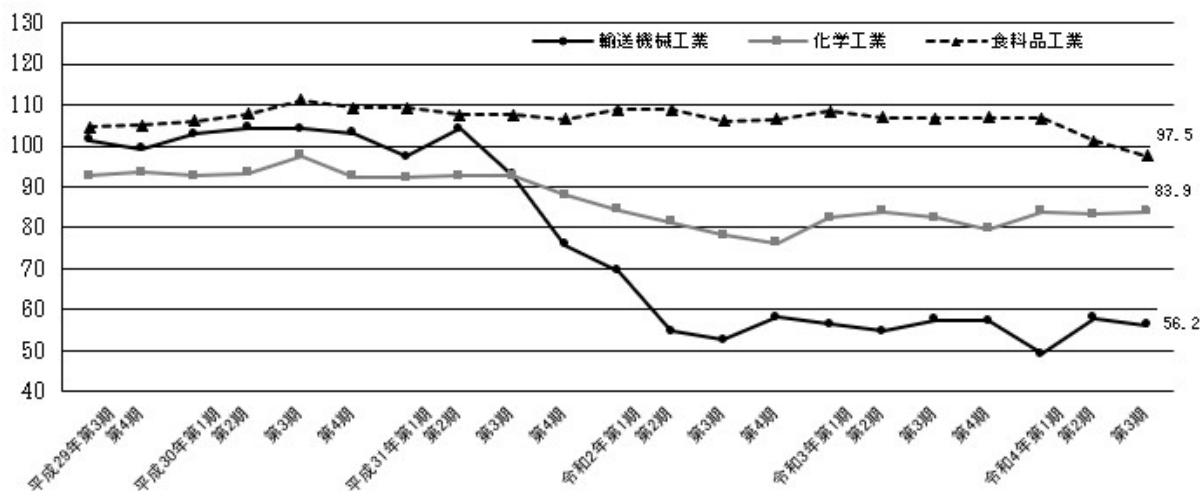
	指 数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生 産	83.7	-3.9	-3.3
出 荷	83.0	-3.8	-2.4
在 庫	82.7	0.5	-4.3
在 庫 率	106.8	6.6	0.9

県内主要業種の指数推移

生産



出荷



(2) 業種・品目別動向（生産・出荷 23 業種）

< 生産 > 上昇・9 業種、低下・14 業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、カーナビゲーションなどを含む情報通信機械工業など 14 業種で低下しました。

一方で、電力変換装置などを含む電気機械工業、医薬品などを含む化学工業などの業種で上昇しました。

< 出荷 > 上昇・8 業種、低下・15 業種

半導体製造装置などを含む生産用機械工業、炭酸飲料などを含む食料品工業など 15 業種で低下しました。

一方で、電力変換装置などを含む電気機械工業、医薬品などを含む化学工業などの業種で上昇しました。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県鉱工業指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a099/index.html>